



# 学校だより

福島県立郡山支援学校  
令和5年9月29日  
令和5年度 第2号

学校経営・運営ビジョンに基づく、本校の取り組み状況をお知らせします。

## <学校教育目標>

『一人一人のよさや可能性を広げ、「生活に生きる力」を育み、自立し社会参加できる児童生徒の育成を目指す。』

## <令和5年度教育課程重点目標>

『各教科等の資質・能力を育むために、言語環境を整えるとともに、各教科等の特質に応じた言語活動を充実させた授業づくりを実践する。』

### 目指す子供の姿

主体的に生きる児童生徒

心豊かに生きる児童生徒

健やかに生きる児童生徒

## 心豊かに生きる児童生徒

### ・学びの連続性を意識した授業づくり (学びの連続性とは、小・中・高等学校との各教科の連続性を指します。)

#### 小学部

音楽では、地域の小学校と同じ楽曲の一部取り上げて学習しています。「富田小学校との交流」の際には、一緒に歌ったり楽器で演奏したりして交流しました。(R4はリモート交流)



#### 中学部

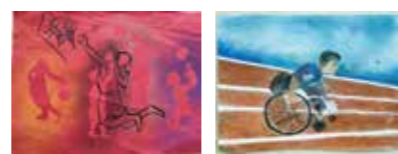
体育では、各学習グループで学びの連続性を意識した授業を行っています。類型が異なっても同じ学習内容で実施できるように、ルールや用具を工夫しながら授業づくりを行っています。



陸上運動「リレー」の様子

#### 高等部

美術では、学びの連続性を意識し、様々な技法を使った作品作りを行っています。今年度は、モダンテクニックの技法を用いて特別支援学校スポーツ大会のポスターに応募する作品を制作しました。



### ・自立活動の視点を大切に授業づくり

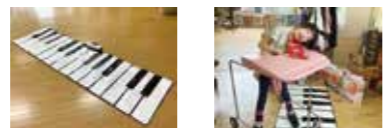
#### 小学部

音声録音補助装置を使用して、朝の会を児童が進行します。可能な動きでスイッチを押し、友達とあいさつをするなど活動の幅を広げています。



#### 中学部

音楽の授業で自分の得意な動きを生かして、ピアノのプレイマットを鳴らしました。意識してリズムを真似することができました。



#### 高等部

バケツで米の栽培をしています。稲の匂いを嗅いだり、手で泥の感触を確かめたりしながら、稲を植えることができました。



### ・地域支援センターによる校外支援の充実

8月21日(月)に、小中学校等に在籍している、特別な支援を必要とする児童生徒を担当する教員の指導力向上を図ることを目的に、「地域支援センター特別支援教育研修会」を実施しました。独立行政法人国立特別支援教育総合研究所主任研究員である小澤至賢(おざわみちまさ)先生を講師として「個別の支援計画の作成と活用～意思決定に焦点をあてて～」という演題で講演いただきました。リモートでの参加を含め、校外からは約30名の参加があり、参加された先生方からは、「ポジティブアプローチとギャップアプローチという視点について気付かされた。」「個別の教育支援計画を進路指導にも活用したい。」といった感想が聞かれました。



## 心豊かに生きる児童生徒

### ・挨拶、モラルを中心としたマナーアップ指導

学校生活における挨拶の習慣化とマナーの向上を目指して、学期ごとに「あいさつ週間」を実施しており、児童会、生徒会の各委員会(代表委員会、風紀委員会)が放送での啓発や校内での呼びかけを行っています。

また、スマートフォンやインターネット利用に係る犯罪被害防止啓発として郡山北警察署から講師を招聘し、情報モラル教室を開催しています。普段からこうした意識をもって生活してほしいと思います。



## 健やかに生きる児童生徒

### ・寄宿舎の生活

寄宿舎の自治会「舎生会」には、以下の4つの係があります。

①規則正しく過ごすための日課放送をする新聞放送部、②健康な体を作る食事を楽しく摂れるよう考える舎食部、③清潔で快適な環境作りに努める環境衛生部、④「ゾーン」と呼ばれる生活空間ごと集団のまとめ役を担い、舎生の中心的存在となって行事の計画運営を行うゾーン長会となっており、舎生たちはいずれかに所属しています。

よりよい寄宿舎生活を目指しそれぞれが責任をもって仕事に取り組むことで、自然と協力し合う姿が見られるようになります。学部を越えた関わりや、お互いを思いやる心が育まれる機会が増え、寄宿舎生活ならではの経験が積み重ねられていきます。

年に2回実施する舎生会総会において、各自治会の目標、活動内容や反省を報告し合い、以後の活動に活かしています。



### ・教員同士が学び合う校内研修の充実

教員一人一人の専門性を高めるため、放課後の時間や長期休業日を利用して、校内研修を行っています。夏休みには、「授業力向上研修」が実施され、校内の先生方を講師として、「音楽の授業づくり」「手話や指文字を使った児童生徒とのコミュニケーション」「ICTの授業での活用」「身近な材料を使った制作活動」の4つの講座が行われました。児童生徒の深い学びにつなげるための演習や制作などが行われ、充実した研修となりました。



教員同士が学び合う校内研修の充実



本校の取り組みを本校ホームページ及び福島県教育委員会公式noteサイト「福島県学びの情報プラットフォーム」に随時アップしています。ぜひご覧ください!!